平成26年度特別会計決算

国保事業2億2千万円ほどの大幅赤字

国民健康保険事業特別会計

○歳入総額
19億6283万円
国民健康保険税収入済額
3億2066万円
（前年度比で72万円減）
収入未済額 6479万円
（前年度比301万円増）
不納欠損額 88万円
理由は所在不明、死亡等
○歳出総額
21億8114万円
（前年度比1億4577万円増）
歳入不足額
2億1830万円
平成27年度より歳入繰上充用金で歳入不足を補った。
保険給付費支出済額
13億3093万円
（前年度比8003万円増）

国保の年間平均被保険者数は、平成24年度が4542人、平成25年度が4346人、平成26年度は4187人と年々減少している。一方、一人当たりの費用額は、平成24年度が33万円、平成25年度が34万円、平成26年度は37万円と年々増加している。これらにより、歳入不足額は昨年度比で3600万円余り増額の2億1830万円と大きな額となった。

認定（全員）

総合健診（特定健診＋がん検診）で安心も倍増です！

国民健康保険直診特別会計

○歳入総額、歳出総額共に
5049万円
診療収入 2336万円
（前年度比527万円減）

歳入不足額を補うため、2234万円を一般会計より繰り入れた。

認定（全員）

介護保険事業特別会計

○歳入総額
17億5503万円
収入未済額 1568万円
（前年度比148万円増）
保険料 2億9449万円
一般会計からの繰入金は2億4788万円。
○歳出総額
17億9336万円
不用額 4662万円
差引残額 4566万円
保険給付費
16億6609万円
（前年度比5026万円増）

サービス利用者
年間延べ8636人
（前年度比89人増）

認定（全員）

介護サービス事業特別会計

○歳入総額、歳出総額共に
1324万円

収入未済額はなし。平成26年度の要支援認定者数は195人、利用契約者数は78人となっている。

認定（全員）

後期高齢者医療保険事業特別会計

○歳入総額1億8833万円
後期高齢者医療保険料
1億718万円
収入未済額 14万円
繰入金 8025万円
（前年度比703万円増）

事務費に係る費用や保険料軽減措置を行なった保険料は一般会計から繰り入れた。

○歳出総額1億8273万円

主なものは、総務費と後期高齢者医療広域連合納付金。

不用額 582万円

認定（全員）

情報センター事業特別会計

○歳入総額1億7018万円
収入未済額 55万円
（前年度比103万円減）
使用料及び手数料
8205万円
繰入金 7400万円
一般基金繰入金
745万円
○歳出総額1億7011万円
不用額 322万円

加入状況は、平成27年3月末現在の対前年度比で、告知端末が19世帯増の4893世帯で加入率94・3％。ケーブルテレビが46世帯増の2128世帯で加入率41・0％。インターネット加入が60世帯増の1158世帯で加入率22・3％となっている。

認定（多数）

Q 宮地 葉子議員

使用料及び加入金等の収入未済額55万円の内訳と理由は。また、不用額118万円の内容は。

A 松本 情報防災課長

収入未済額の内訳は、まず